TOMODACHIイニシアチブ

2012年活動報告書

www.usjapantomodachi.org/ja

はじめに

ごあいさつ

親愛なる友人の皆様、

2012年、TOMODACHIのプログラムや活動は、数千人もの人々の人生に変化をもたらしました。昨夏は、カリフォルニアからバーモントまで、約500人の東北地方出身の日本人学生が米国を訪れ、様々な場所を探索し、米国の人々との友情を育み、また一人の人間として成長し、将来社会に貢献できるような、貴重な体験をしました。日本国内では一年を通して、さらに数百人が起業支援、スポーツ、そして文化交流プログラムに参加し、米国の企業経営者やスポーツ選手、芸術家、その他の分野の専門家と交流しました。彼らはまた、共通の夢と情熱を持つ同年代の若者たちとも触れ合いました。

私たちは、TOMODACHI世代の若者こそが、強い日本、強い米国、そして強く永続性のある日米関係を築くために不可欠であると確信しています。TOMODACHIプログラムを通して、それぞれの地域社会、国、そして世界に前向きな変化を起こすことのできる素晴らしい意志、才能、そして意欲をもった日米の多くの若者たちに出会うことができました。しかし、彼らが成長し、夢を叶えるには私たちの支援が必要なのです。

日米企業による資金・物品の両面による支援は、次世代の育成に不可欠です。私たちにとって支援者の皆様は本当のパートナーです。その惜しみない支援によって集まった約1500万ドルのコミットメントは、日米の将来の指導者を養成すること、若い時に互いの国を体験できるように支援すること、日米関係の強化と多様化に向けた協力を奨励することに熱心に取り組んでいることの表れです。私たちは、これまでTOMODACHIを支援して活動を可能にして下さった皆様に深く感謝すると同時に、これから私たちの重要で刺激的な取り組みに参加して下さる新しいパートナーを心から歓迎します。

友情は、それが個人の間であれ、国と国との間であれ、必ず人と人とのつながりから始まるものです。友人としてお互いに力を合わせ、学び合うことによって初めて、困難に立ち向かい、目の前のチャンスをつかみ取ることができます。これは、2011年3月11日の東日本大震災の後、日米両国が力を合わせて東北地方の人々を支援したことによって実証されました。また、日本人と米国人の間で日常的に起きている無数の関わり合い—刺激的だけれども、ますます複雑化する世界で成功できるよう、互いに支え合う日米の人と人とのつながり—にも反映されています。

今後とも、私たちと一緒に次世代の若者たちをつなぎ、元気づけ、エンパワーしていきましょう。これこそ、永続性のある友情と、素晴らしい日米両国の未来に対する投資なのです。

アイリーン・ヒラノ・イノウエ
米日カウンシル会長

ジョン・V・ルース
駐日米国大使

はじめに

TOMODACHIイニシアチブについて

使命

TOMODACHIイニシアチブとは、東日本大震災からの日本の復興を支援するとともに、長期にわたり日米間の文化的・経済的な結び付きを強化し、友好を深める形で、両国の将来の世代に投資する官民パートナーシップです。

夢を持ち、その実現に向け計画を立て、実行する日米の将来の世代、すなわち互いの文化や国を理解し、成功と社会への貢献に必要な世界中で通用する技能と国際的な視点を備え、日米関係の将来に深く関わる「TOMODACHI世代」の育成を目指しています。

価値観

TOMODACHIは、日米の若者が夢を実現し、世界をより良くするために貢献できる体験や技能および自信が持てるように、彼らを刺激し、エンパワーします。私たちは、強い日本、強い米国、そして強く永続性のある日米関係を築くために不可欠なのは、若い世代であることを確信しています。

TOMODACHIは、以下の価値観によって両国のTOMODACHI世代の育成を目指しています。

友　情

日米の若者が、互いに学び合い、刺激し合って、共通の興味や目標を持ち、協力してどのような課題にも立ち向かい、あらゆる機会を活用できるような絆を結べる機会を提供します。

リーダーシップ

すべての人が、それぞれの地域社会、国、そして世界全体をより良く変えることができるし、またそうするべきだと確信しています。そして自分のために、また人のために世界をより良くしようと積極的に努力する市民になるよう、若者たちを励ましエンパワーしています。

希　望

日米の次世代の人々に希望を与えるだけでなく、友達やリーダーとして力を合わせて希望や夢を実現するための手段を与えることに努めます。

背景

2011年3月11日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本はTOMODACHIイニシアチブを開始しました。
TOMODACHIは米国政府と公益財団法人 米日カウンシル-ジャパンが主導し、日本政府および日米の企業、団体、個人から支援を受けています。

プログラム & 活動

教育・交流プログラム

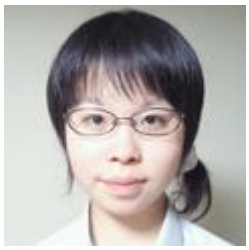
教育・交流プログラムは、短期留学体験などを通じ、互いの文化に触れることで日米両国の若者の人生を豊かにし、彼らに刺激を与えるものです。

2012年には12件の教育・交流プログラムが実施され、参加者は中学生から若き専門家まで約685人にのぼりました。このようなプログラムを通じて、生徒たちは異文化を体験し、英語力を向上させ、交流やホームステイによって新しい発想に触れることができました。

主な教育・交流プログラム 2012

TOMODACHI サマー2012 コカ·コーラ ホームステイ研修プログラム

東日本大震災被災地の高校生60名が、7月22日から8月9日まで米国各地で行われる3週間のホームステイと文化交流のプログラムに参加しました。このプログラムでは、参加者は2日間のワシントンDCツアーの後、アメリカの4州でホームステイを体験したほか、英語研修、有名な史跡への小旅行、キャンパス訪問、スポーツ交流や文化交流などの活動をしました。



「アメリカで私を受け入れてくれたホストファミリーをはじめ、他県からの同じチームのメンバーやステイ先で出会った人たち全ての笑顔が[震災後の]そんな不安を和らげ、私に勇気と自信を与えてくれました」

- 福島県の相馬高等学校の鈴木ひかるさんはTOMODACHIサマー2012コカ・コーラホームステイ研修プログラムに参加してオレゴン州セーラム市にホームステイをしました

TOMODACHI-UNIQLO フェローシップ

このプログラムは10月に開始し、日本の次世代のビジネスおよびファッションリーダーに世界水準の教育を提供します。このフェローシップは、スタンフォード大学経営大学院、ファッション工科大学（FIT）、パーソンズ・スクール・オブ・デザインの３校の大学院課程で学ぶ学生に奨学金を全額支給します。フェローの第１陣は2013年の秋に各校に入学します。

TOMODACHI-GE 2012年ヘルスケア・アカデミック・プログラム

GE Foundation

GEファンデーションが、2011年の東日本大震災で被災した東北地方の複数の大学で、ヘルスケア教育プログラムを提供しました。プログラムには、次世代のヘルス・インフォメーション・スペシャリストを育成する講座や、地域医療での連携促進を目的とする一連のセミナーが含まれていました。

TOMO DACHI

友　情　リーダーシップ　希　望

「それまでずっと孤独でしたが、[TOMODACHIと] BEYOND Tomorrowで一生の仲間と最高の時間を共有し、絆が生まれ、仲間が出来ました」

-TOMODACHIサマー2012 BEYOND Tomorrow米国プログラム～復興とまちづくり～に参加した経験について

プログラム & 活動

教育・交流プログラム

TOMODACHI・MUFGサマー2012国際交流プログラム

TOMODACHIイニシアチブ及び三菱UFJフィナンシャル・グループ（MUFG）の支援で、20名の宮城県の中・高生がカリフォルニア州のロサンゼルスとカールスバッド（サンディエゴの郊外）での交流プログラムに参加しました。プログラム期間中、参加者はカールスバッドでホームステイしたり、大学で寮生活を経験したり、アメリカの企業を訪れたりしました。また英語の研修をし、リーダーシップスキルを学び、地域でのボランティア活動に参加しました。

TOMODACHIサマー2012 ソフトバンク·リーダーシップ·プログラム

TOMODACHIイニシアチブとソフトバンク株式会社の支援で、東日本大震災で被災した300名の高校生が、カリフォルニア大学バークレー校のキャンパスで3週間の集中プログラムに参加し、グローバル・リーダーシップと地域貢献について学びました。参加学生は、チームでコミュニティサービスのプロジェクトを作成し、自分たちの地域社会の復興、再建への貢献に生かすことができる体験をしました。

「私は、このプログラムを通して、リーダーとは、人々の先頭に立ったり頂点に立ったりすることではなく、常に人々の輪の中心にいる人であることを学びました。そして、良いリーダーとは、人々からいろいろなアイデアを出してもらい、それを一つのまとまった形にすることができる人であると思いました」

- TOMODACHIソフトバンク2012リーダーシップ・プログラムに参加してカリフォルニア大学バークレー校に行った宮城県名取市の佐々木翼さん

TOMODACHI アフラック プログラム

このプログラムは、日本人の次世代の小児ガン医師と米国の医師との交流を促すものであり、9月に発表しました。フェローシップは2013年に始まります。

2012年3月と7月の日米協会ハワイ・レインボーキッズ・プロジェクト

2012年7月から8月のTOMODACHIサマー 英語研修プログラム

3月と12月に行った、横須賀ホームステイ・プログラム

2月から3月に行ったKIP日米復興市民対話プログラム－3.11にまつわる日本人学生の声

TOMODACHI 交流基金

三菱商事、トヨタ自動車、日立製作所によって創設

TOMODACHI交流基金は、2012年４月、三菱商事、トヨタ自動車、日立製作所から多額の資金援助を受けて創設されました。この基金の下で、何百人もの若い日本人学生が質の高い教育・文化交流プログラムに参加して、米国の若者と交流する機会を得ることになります。これらのプログラムは、東北地方や日本全国の若者に希望を与え、彼らの夢の実現に必要な技能や機会を提供するというTOMODACHIのビジョンの達成に貢献します。基金に最初に寄せられた寄付金は240万ドルにのぼり、2013年から3年間にわたり、プログラムが実施されます。

プログラム & 活動

スポーツ、音楽、芸術分野での文化交流プログラム

文化交流プログラムは、スポーツ、音楽、芸術において日米両国の人々が互いの文化を学び、長く興味を持ち続けるきっかけとなるものです。TOMODACHIイニシアチブは、長年続いている数多くの権威ある文化交流プログラムや、日米の著名スポーツ選手、芸術家、ミュージシャン、芸能人と協力します。

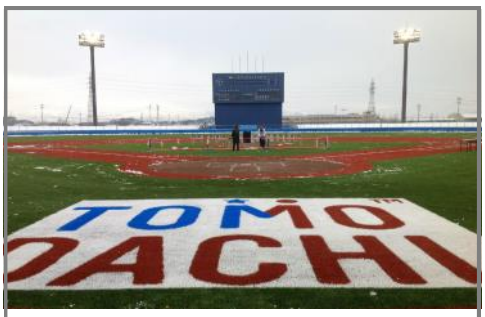
2012年には７件の文化交流プログラムが実施され、小学生から高校生まで約150人もの人生を変えました。TOMODACHIは、米大リーグ機構（MLB）や米ナショナル・バスケットボール・アソシエーション（NBA）と協力して、子どもたちにスポーツの楽しさと本来の意義を学んでもらう機会を提供したり、若きパフォーマーや芸術家たちが自分たちの作品や演奏を披露する機会を提供して、日米間の異文化対話を促しています。

主な文化交流プログラム 2012

米大リーグ機構（MLB）とTOMODACHIイニシアチブのパートナーシップ

TOMODACHIイニシアチブは、MLBおよび同選手会と協力し、子どもたちにコミュニケーションとチームワークの大切さを学ぶ機会を提供しました。このパートナーシップは、野球殿堂入りを果たしたカル・リプケン･ジュニア氏が、2011年11月に日本を訪問した際に始まりました。

TOMODACHIイニシアチブとMLBは、カル・リプケン・シニア財団から岩手の少年野球チームへの野球道具の寄贈を行いました。



MLB、同選手会、北カリフォルニア日本文化・コミュニティーセンター、米日カウンシル地震救援基金、TOMODACHIイニシアチブの寄付により、2012年12月9日、東日本大震災の津波で被災した宮城県石巻市民球場がリニューアル・オープニングしました。

MLB、同選手会、TOMODACHIの協力で、シアトル・マリナーズとオークランド・アスレチックスはMLB開幕戦を東京で開催し、野球教室を東北地方で開催しました。

「世界一のNBA選手も基礎的練習を繰り返しやるんだ。私はこれを機会に生徒たちがやる気を出し、南相馬に戻っても、小さいことを積み重ねてやることの大切さや、前向きな姿勢を忘れず毎日バスケの練習や勉強に取り組んでほしい」

- 福島県南相馬市からNBAユースキャンプに参加した中学生に付き添った田中巨文コーチ

日米草の根サミット

ダルビッシュ有投手、テキサス・レンジャーズ、そして日本のオンラインゲーム会社である株式会社gloopsが協力して、石巻市の少年野球チームを8月から9月までノース・ テキサスで開催される日米草の根サミットに参加できるよう資金を援助しました。

プログラム ＆ 活動

スポーツ、音楽、芸術分野での文化交流プログラム

「行きの飛行機から帰りのバスまで、毎日、ホストファミリーの方々をはじめとした、様々な人との新しい出会いを体験できました。また、大会に参加して下さる通訳の方など運営に携わるボランティアの方々とのグラスルーツ、すなわち、人と人との直接的な交流がいかに大切なものかを、私が今回この“TOMODACHI”という機会をいただいたことによって、今まで以上に深く理解することができました」

８月に宮城県南三陸市で行われたスポーツ・キャンプ・オブ・アメリカ

１１月２５日に宮城県気仙沼市で吹奏楽部の生徒たちがザ・グレン・ミラーオーケストラとチャリティーコンサートで共演しました

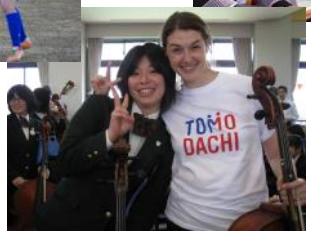
伊藤有亮さんは気仙沼市立唐桑中学校の3年生で、テキサスで開催されたCIEの日米草の根交流サミットに参加しました

9月に始まった２ヵ月間のヤング・アメリカンズ東北ツアー

6月12日に福島県塩釜市の子供たちがＮＢＡバスケットボール・キャンプに参加しました

サッカー米国女子代表チームが3月27日に、仙台市で、日本の子どもたちにサッカー教室を開催しました

4月にワシントンＤＣで行われた桜寄贈100周年を記念する桜祭に山木屋太鼓グループが出演しました



５月31日に宮城県多賀城市にある秀光中等教育学校で オルフェウス室内管弦楽団がミュージック・ワークショックを開催しました

TOMODACHI

友 情 リーダーシップ 希 望

「リーダーシップとは、自分の意見だけを貫き通すことではなく、高い目標に向かって仲間と共にぶつかり合い、支え合いながらより良いものを作り上げていく中で先頭に立ってまとめて行くことだと思いました」

福島県立磐城高等学校の芹澤崚さんがTOMODACHIサマー2012ソフトバンク･リーダーシップ･プログラムに参加して学んだこと

TOMODACHIプログラムの実施パートナー

大勢の学生を引率して渡米するためには、多方面にわたる調整が必要です。そこでTOMODACHIでは他のNPO団体と協力してプログラムを実行しています。TOMODACHIの成功を支えているのは、アユサインターナショナル、日本国際生活体験協会（EIL）、アメリカンフィールドサービス（AFS）日本協会などの経験豊富な実行団体です。またビヨンドトゥモロー、ファイブプラネッツ、オージーエー・フォー・エイド、エイドタカタ、フロンティア南相馬をはじめとする、3.11を受けて若者の支援のために新しく設立されたNPO団体とも協力しました。

起業支援･指導者育成プログラム

TOMODACHIイニシアチブは、次世代を担う起業家と若き指導者たちが、自分たちの住む地域社会、国そして全世界にとって前向きな変化を起こすために必要な技能と専門知識を習得するプログラムを提供しています。

2012年にTOMODACHIは、主に大学生を対象とする6件のプログラムを通じて、約140人の若者の技能育成を支援しました。このようなプログラムを通じて参加者は、職業に関わらず人生を通じて活用できるリーダーシップ・スキルを習得しました。そして経済成長と社会の発展を促す新しいアイディアや企業を生み出す起業家精神にあふれた環境で仕事をし、成功することを学びました。

主な起業支援・指導者育成プログラム 2012

TOMODACHI ビヨンド・トゥモロー U.S. プログラム

このプログラムは、ニューオーリンズ、ボストン、ニューヨーク、ワシントンDCで2週間にわたり行われ、米国の災害復興および計画策定体験から学び、同時に学生大使として自らの体験を米国の人々と分かち合う機会を東北地方の若者に提供しました。

TOMODACHI 東北チャレンジ

このプログラムは、東北地方の復興を加速させるベンチャービジネスを見出す、起業家のためのビジネスプラン・コンテストです。TOMODACHI東北チャレンジは、サンブリッジ・ファンデーションの創設者アレン・マイナー氏、そしてジェイ･シード株式会社の創設者ジェフリー・チャール氏を含めた日米両国の起業家、ベンチャー投資家、アナリストから成る米日カウンシル・アントレプレナーシップ・リーダーシップ・アドバイザリーボード（UE-LAB) により設立されました。優勝したのは、宮城県気仙沼市にある脱塩技術を商業化するナノミストテクノロジーズ社でした。

TOMODACHI 三井物産リーダーシップ・プログラム

このプログラムは日米両国のビジネスや政府の若きリーダーを刺激して意欲を持たせることを目的とし、互いの国と交流し、グローバルな視野を持つリーダーとなる機会を提供します。参加者は2013年の夏から渡米します。

三井物産株式會社

TOMO DACHI

友　情　　リーダーシップ　　希　望

「海外で活躍する日本人や架け橋になっている人を見て、目の前にある扉を開ける勇気と大切さを肌で感じることが出来たのです。私は高校卒業後に米国留学をしたいと思っています。 そして将来は、英語を使った仕事をしながら国際交流やボランティア活動などに取り組みたいと思っています。」

- 阿部志帆さんは石巻市立女子高等学校の3年生で、カルフォルニア州ロサンゼルスとカールズバッドでTOMODACHI-MUFG2012サマー国際交流プログラムに参加しました

プログラム ＆ 活動

起業支援･指導者育成プログラム

東京アメリカンセンター・慶応湘南藤沢キャンパス（SFC）アントレプレナーシップ・セミナーとビジネスプランコンテスト

このプログラムは、アントレプレナーシップに関わるスキルを磨くための機会を大学生に提供します。2月と9月に行われた2つのビジネスプランコンテストは、東北地方の復興と再生を支援する新たな事業の開拓に焦点が置かれました。TOMODACHIの支援を受け、慶応湘南藤沢キャンパス（SFC）と東京アメリカンセンターが企画したこのプログラムで、学生は日本とアメリカにおける起業実務を経験を積んだ起業家や業界の専門家から直接学ぶことができ、またこういった起業家や専門家が、セミナーの講演者、コンテストの審査員ならびにメンターを務めました。

「あったらいいなと思うことと、それを行動に移し実現することの間には大きな壁がある。時間をかけて、同じような夢を持っている他の学生と意見の交流を図ることも重要です。失敗を恐れず、情熱を見失わないように突き進むことが大事だと思います」

- 福島大学の船野洋平さんは、2月のアントレプレナーシップ・セミナーとビジネスプラン・コンテストに参加して、起業家ならでは経験できない困難や、心を躍らせるチャンスに感謝することを学んだ学生の一人です。

TOMODACHI 東北グリーン・コミュニティー・アライアンス交流プログラム

このプログラムは、東日本大震災の被災地である東北地方に在住のリーダーに、エネルギー効率に優れた「スマート」コミュニティーを実現する米国の取り組みを紹介しました。これには、自然災害に見舞われたコミュニティーの再建を促進するための都市計画、省エネビル、再生可能なスマートエネルギー・システムの活用が含まれていました。

全体的に、TOMODACHIプログラムの参加者の基本的なビジネススキルと起業家精神の理解が深まり、そして自分の夢を実現させるための自信がつきました。

TOMODACHI イニシアチブと5ivePlanets Foundationがパートナーを組み、TOMODACHI P5東北アントレプレナー・サマープログラムを7月末に一週間、神奈川県横浜市で開催しました

「TOMODACHI世代が日本の復興の力になれると感じています。あとは行動あるのみです」

- 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの清水健佑さん

TOMODACHIへのサポート

TOMODACHIイニシアチブは、米国政府と公益財団法人 米日カウンシルが主導する官民パートナーシップで日本政府、および日米両国間の友好関係と絆の強化に尽力する日米企業、団体や個人が支援しています。

2月3日に発表されたTOMODACHI 教育交流イニシアチブにルース駐日米国大使、日本GE株式会社 代表取締役社長兼CEO マーク・ノーボン氏、日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長 ダニエル・セイヤー氏、ソフトバンク株式会社 代表取締役社長 孫正義氏、米日カウンシル会長アイリーン・ヒラノ・イノウエ氏が参加しました

玄葉 光一郎外務大臣が9月22日のTOMODACHI サマー・セレブレーションでスピーチをしました

トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長 豊田章男氏、三菱商事株式会社 取締役会長 小島順彦氏、TOMODACHI プログラムに参加した生徒 小川彩加さん、武田薬品工業株式会社 代表取締役社長 長谷川閑史氏、米日カウンシル会長 アイリーン・ヒラノ・イノウエ氏、三菱ＵＦＪフィナンシャル・グループ 取締役会長 沖原隆宗氏がTOMODACHI交流基金を4月18日に発表しました

アフラックジャパンの統括法律顧問 アンドリュー・コンラッド氏がTOMODACHIの支援を9月22日のイベントで発表しました

January 2012 → **December 2012**

東京で行われた「メン・イン・ブラック３」のプレミアで、ウィル・スミスがTOMODACHI への支援を表明しました

バンクオブアメリカ・メリルリンチのチャリティ・ワインディナーが開催され、その収益がTOMODACHI イニシアチブへ寄付されました

日本のテレビ番組でデイブ・スペクター氏はTOMODACHIを支援しました

日本人レーシングドライバーの井原慶子氏は、1月に行われたドバイ24時間耐久レースでTOMODACHI の認知度向上に貢献しました

レディー・ガガは、TOMODACHIアート・フェローシップ・プログラムを支援するためにティーカップをオークションに出品しました

日本の地下鉄の電車内に並ぶTOMODACHI-MUFG 2012 サマー・プログラムのテレビ番組広告

TOMODACHI 経験者参加のイベント

TOMODACHIイニシアチブは、参加者がプログラムと活動を通じて培われた友情を持続させ、習得した経験と知識を生かすことができるよう、全力で支援します。友情を深め、地域社会を支援し、夢を実現させるために習得したスキルを強化する特別なイベント、活動、そしてフェイスブックなどのソーシャル・メディア（SNS）を通して、TOMODACHI経験者と継続的に交流することで、TOMODACHI経験者のために機会を創出し、道を開くよう努力しています。

ヒラリー・ローダム・クリントン米国務長官は7月8日に行われたTOMODACHIユース・リーダーシップ対話で、日米両国の将来のリーダーを育成してゆくという米国のコミットメントを表明しました。ジョン・V・ルース駐日米国大使公邸で開かれたこの特別イベントで、同長官は21名の日米の学生らと対談しました。

カリフォルニア大学バークレー校でのTOMODACHIソフトバンク・リーダーシップ・プログラムに参加した生徒のうち6名が、日本に帰国後の8月26日、東京銀座のApple Storeで、プログラムでの経験や、そこで学んだことを自分たちのコミュニティーでどのように活かすかについて発表しました。プログラムに参加した300名の生徒は、カルフォルニアに出発する前にiPadを支給され、使い方の指導を受けて、リーダーシップについて学ぶ時に活用しました。

TOMODACHIプログラムに参加した学生7名が、駐日米国大使ルースの公邸での特別イベントに招待され、青年交流サマープログラムの成功を祝いました。この9月22日の特別イベントは、日米の企業によるプログラムへの多大な支援に感謝の意を表すためでもありました。

12月6日、TOMODACHIプログラムの参加者20名が、東京で開催されたセールスフォース・ドットコム イベント、Cloudforce Japanの特別セッションで客席の最前列に座りイベントを楽しみました。このセッションでは、トヨタ自動車取締役社長の豊田章男氏、コリン・パウエル元米国務長官、米国セールスフォース・ドットコム会長兼CEOのマーク・ベニオフ氏によるイノベーションとグローバルリーダーシップについての特別対談が行われました。

TOMODACHI 寄付者

ストラテジック・パートナー

(100万ドル以上)

Aflac

Coca-Cola

GE Foundation

MAJOR LEAGUE BASEBALL

MAJOR LEAGUE BASEBALL PLAYERS ©MLBPA

Mitsubishi Corporation

MUFG 三菱UFJフィナンシャル・グループ

三井物産株式會社

SoftBank

武田薬品工業株式会社

TOYOTA

ユニクロ UNIQLO

(2012年12月31日現在)

TOMODACHI 寄付者

協賛者/協賛企業 (10万ドルから100万ドル)

American Airlines

ANA

Bank of America Merrill Lynch

Chevron

Goldman Sachs

HITACHI Inspire the Next

JAPANESE CULTURAL AND COMMUNITY CENTER OF NORTHERN CALIFORNIA

salesforce

支援者/支援企業 (10万ドル未満)

ANDERSON MŌRI & TOMOTSUNE

Calvin Klein

CBCC

DELTA

gloops

Hotel Okura TOKYO

IMPERIAL HOTEL

JAL JAPAN AIRLINES

The Japan Association of Charitable Organizations

J:COM

KPMG

Leelanau School

Lilly

McCANN WORLDGROUP

PAUL HASTINGS

Proskauer

Spector Communications (株)スペクター・コミュニケーションズ

ST. TIMOTHY'S SCHOOL

TEXAS RANGERS

THE TOKYO CLUB

tricor Tricor K.K. トライコー株式会社

WALKATHON

Yonamine Foundation

Saniya Bloomer, Ad-comm Group

Nobuko Saito Cleary and friends of CSMA

西山　廣宣

Brian Salsberg, McKinsey & Company

Susie Roos Cookbooks

弓　哲玖

共に次のTOMODACHI世代の育成に投資しましょう

TOMODACHI リーダーシップ

諮問委員会

TOMODACHIイニシアチブの諮問委員会は日米の経済界、政府、学界、市民団体の指導者で構成されたグループであり、TOMODACHIイニシアチブの使命遂行のために助言と支援を提供します。

リチャード・アーミテージ	アーミテージ・インターナショナル代表
安藤裕康	国際交流基金 理事長
マーク・ベニオフ	株式会社セールスフォース・コム (Salesforce.com) 会長兼CEO
長谷川閑史	武田薬品工業株式会社 代表取締役社長
飯島彰己	三井物産株式会社 代表取締役社長
イイノ・トーマス	米日カウンシル 理事長
川村隆	株式会社日立製作所 取締役会長
小島順彦	三菱商事株式会社 取締役会長
ヨーヨー・マ	チェロ奏者
三木谷浩史	楽天株式会社 代表取締役会長兼社長
緒方貞子	国際協力機構（JICA）元理事長
沖原隆宗	株式会社三菱ＵＦＪファイナンシャル・グループ 取締役会長
ジョン V.ルース	駐日米国大使
佐々江賢一郎	駐米日本国大使
ボビー・バレンタイン	ボストン・レッドソックス元マネージャー

（敬称略）

ルース駐日米大使、阿部志帆さん、スージー・ルース駐日米国大使夫人、 沖原朱美会長夫人、沖原隆宗会長

ニール・ヤング氏、マーク・ベニオフ氏、ウィル・アイ・アム氏、カート・トン首席公使

飯島彰己氏とアイリーン・ヒラノ・イノウエ氏

「セールスフォース・ドットコムはTOMODACHIの改革の力を信じています。ビジネス分野や政府のリーダーの適切な支援と励ましを得て、日米の若者は世界をより良い場所に変える能力と情熱を持つと強く確信しています」

- セールスフォース・ドットコム 会長兼CEOマーク・ベニオフ氏

TOMODACHIの構造

「プロジェクトの支援だけではなく、武田は組織を強化するための活動は重要だと思います。なので、3年間に渡って米日カウンシルがTOMODACHIイニシアチブを経営する能力を強化するための経営費に寄付することを決断しました。私はTOMODACHIイニシアチブへの支援の円が育ち復興に貢献することを信じています。そして武田がこの役割の手助けをし、そして米国と日本の絆を深めることを望んでいます。」

- 武田薬品工業株式会社 代表取締役社長 長谷川閑史氏

TOMODACHIの強化

TOMODACHIイニシアチブは、特にTOMODACHIの運営および経営能力強化に充当する寄付金を寄せてくれた武田薬品工業株式会社に深く感謝します。組織が効果的にその使命を遂行するには、専任のスタッフとリソースが必要です。武田薬品からの寄付金により、TOMODACHI世代を育成し、強固で揺るぎない日米関係を構築する優れたプログラムを実現することができます。

米日カウンシル、在日米国大使館、そしてTOMODACHIイニシアチブ

米日カウンシルと米日カウンシルージャパンは、在日米国大使館と緊密に協力して、官民パートナーシップであるTOMODACHIイニシアチブを管理運営します。具体的な活動は、プログラムの開発と管理、コミュニケーションとアウトリーチ活動、マーケティング、資金調達、寄付者との折衝などです。

米日カウンシルは、ワシントンDCに本部を置く501(c)3非営利非課税組織です。一方2012年に米日カウンシルージャパンは一般財団法人として設立され、日本経済団体連合会の関連組織である企業市民協議会の支援の下、寄付者が税制上の優遇措置が受けられるようになりました。米日カウンシルージャパンは、2013年に公益財団法人米日カウンシルージャパンとなりました。寄付者の拠点が米国、日本のいずれであるかに関わらず、米日カウンシル、公益財団法人 米日カウンシルージャパンを通じてTOMODACHIイニシアチブに寄付した場合、寄付者は税金の優遇措置を受けることができます。

決算報告書は米日カウンシルのウエブサイトwww.usjapancouncil.org、また米日カウンシルージャパンのウエブサイトwww.usjapantomodachi.org/jaでご覧いただけます。

詳細は：　**www.usjapantomodachi.org/ja**

facebook.com/USJapanTOMODACHI

twitter.com/JapanTOMODACHI

http://www.youtube.com/USJapanTOMODACHI